平成21年7月22日

平成21年度キャリア教育指導者養成研修
「キャリア教育の意義と求められる背景」

立教大学大学院教授
渡辺 三枝子

1 キャリア教育の理解を推進するために：第二段階を迎える今

- (1) **混乱する現状を直視**：「言葉の氾濫が放置されていること」の確認
関連する用語の例：進路指導、キャリアガイダンス、キャリアデザイン
進路相談、キャリアカウンセリング、教育相談
目的は同じであっても、その目的に達する手段はいろいろ。

新たな混乱：職場体験、適職志向の再燃、産業界の要望に応える教育・・・
流行の類似用語の例：金融教育、起業教育、職業教育

- (2) **第二段階を迎えるキャリア教育**：発展か衰退・形骸化かの岐路
中教審の動向
教育の価値を発揮するチャンスでもある。

2 「キャリア教育」が求められるようになった背景

子どもたちの成育環境の変化（例：人口統計的变化、教育環境、社会・経済的
環境、産業構造の変化）と学校教育のもつ現代的意義の再考

高等学校における進路指導への批判
若者の職業観に対する社会の関心と懸念

3 キャリア教育への誤解が理解を妨げている現状

進路指導の新しい呼び名ではない？
エリート教育？
将来を設計させること？
児童生徒の夢・適性を早く見つけて、それを実現させるようにすること？
職場体験をすること？

4 「キャリア教育」とは：教育改革の理念であり方針

- ① 「キャリア」の意味についての理解
さまざまな経験の積み重ねとその意味づけ
含まれる意味
時間的経過：「いま」の持つ重要性の再確認

空間的広がり：学校は「もっとも身近な社会」であることの認識
個別性：すべての児童生徒が対象であり、一人一人の児童生徒が自律的に
生きるのに必要な基礎力を育てることに傾注

- ② 「学校教育」のもつ意味の再確認：「学ぶこと＝働くこと」
児童生徒の全人的「発達」を促進するという学校教育の目標の共有
「全教育活動を統合する視点」がキャリア教育に不可欠
児童生徒にとって、「仕事」は「学ぶこと」：児童生徒にとって、学ぶこと
が一番大切な仕事であること
「学び」を通して、知的、社会的、情緒的発達のみならず、自尊感情、自
己評価を作り上げる時期
「教科指導」のあり方、進め方の再考が不可欠
教科を通してのキャリア教育
- ③ 「将来、社会的に自立できるようになるための土台を作ること」を目指す教
育（中教審特別委員会案「社会的・職業的自立の土台作り」）
- ④ 小学校から中学校、中学校から高校あるいは社会への**移行**のもつ発達の意
味の再確認と、この移行を乗り越えていけるように支援すること
入学時の「新しい環境への適応」支援
- ⑤ 学校は「社会」であること：社会は学校外にあるのではない、
産業界は延長線上にある社会のひとつ

5 キャリア教育の実践の基礎

- ① 各学校によって独自の取組みが行われるはずのキャリア教育
二つと同じ取組みはない
- ② 取組みの内容を決める要素
 - * 学校の建学の精神：どんな生徒を育てたいのか？
 - * 児童生徒の状態
 - * 地域の特徴
 - * **教師集団の協力体制** 教師のプロ意識
すべての教師の理解が不可欠

6 「職業体験」を重視する方針の落とし穴

本当に必要なのか？を議論する必要がある
学校教育、学校生活への貢献を考えるとなしには意味がない
学ぶ意味、未知の経験に開かれていく挑戦心、好奇心、興味を広げる力を育て
るのに役立つ

事前・事後指導が不可欠

参考：小学校・中学校・高等学校におけるキャリア教育の手引き（平成 18 年 11 月）

渡辺三枝子 「キャリア教育：自立していく子どもたち」（2007）東京書籍

渡辺監修、明石中学研究会 「教科のできるキャリア教育」（2009）図書文化社

関連する用語の定義

*キャリアとは

個々人が、生涯にわたって遂行するさまざまな**経験の累積**（立場や役割の連鎖）：その過程における**自己と働くこととの関係付けや価値づけの累積**

出典 文部科学省「キャリア教育の推進 報告書」

*進路指導（キャリアガイダンス）とは

生徒の個人資料、進路情報、啓発的経験および相談を通して、生徒自ら、将来の進路の選択・計画をし、就職または進学して、さらにその後の生活によりよく適応し、進歩する**能力**を伸張するように、教師が、組織的、継続的に指導・援助する過程である

出典 文部省「中学校・高等学校進路指導の手引き」昭和36年

*キャリア教育とは

教育改革の理念であり指針：キャリア発達や個の自立を促す視点から、従来の教育のあり方を幅広く見直し、改革していくための理念や方向性を示すもの

児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育

出典 文部科学省「キャリア教育の推進 報告書」

*カウンセリングとは？

心理学的な専門的援助**過程**であり、それは**大部分言葉を通して行われる過程**である。

その過程の中で、カウンセリングの専門家であるカウンセラーと、なんらかの問題を解決すべく援助を求めているクライアント（生徒）とがダイナミックに相互作用し、カウンセラーはさまざまな援助行動を通して、

自分の行動に責任を持つ クライアントが自己理解をふかめ、「よい（建設的・積極的）」意思決定という形で、行動が取れるようになることを援助する。

最終的目標は、社会の中でその人なりに最高に機能できる自発的で独立した人として自分の人生を歩むようになること。

出典 渡辺三枝子 {新版カウンセリング心理学}

*コミュニケーションとは

ある人が、何らかの**目的なり意図なり**を果たすために、それに関連する内面のさまざまな心の動きの一部を選択し、何らかの手段を通じて表現し、それを他の人と共有しようとする**過程**のことで、その結果その関係者の間に何らか**関係の変化**が生じること

出典 渡辺・渡辺「コミュニケーション読本」雇用問題研究会